

公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	Ⅱ.Ⅱ-1.(3)
対象事業	道路・街路事業
主要目標	都市災害防止

優先順位付け の考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価						事業間 ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果	
		公共関 与、事 業執行 主体の 妥当性	経済効 率性	事業 実施、 規模 の妥当 性	整備 手法の 有効性	環境 負荷へ の配慮	事業 計画の 熟度	貢献度ランクの評価				副次効果ランクの評価						
								貢献度 ランク	緊急輸送路 指定 指定有無	自動車交通量 台/12h	他事業との連携		副次効果 ランク					評点
											一体施工 有無	整備済区間に 連続する区間 有無						
公共性(緊急性)の高い区間、および機能遮断の影響が大きい区間、他事業と連携する区間を優先する。	国道139号・下吉田Ⅱ期工区	○	○	○	○	○	○	a	有	9,172	-	有	1	5	S I			
								基準値	有	3,428	有	有	基準値	5.0				

副次効果評価調査書

主要目標番号	II-1-1. (3)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所	副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標	都市災害防止						
評価対象地区・箇所名	国道139号・下吉田II期工区						
主要目標項目	I 県民生活の豊かさ と経済の発展を支える 基盤充実	I-1. 交通の利便性の 向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上				
		I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
	I-3. 農林水産業の振 興	(4) 良好な市街地空間の確保					
		(5) 適正な居住空間の確保					
		(6) 歩行者等の通行空間の確保	●	○	歩行者、自転車利用者数多、駅から公益施設へのアクセス経路無、よって必要性小 主要目標「歩行者等の通行空間の確保」の評価指標による貢献度ランクがb	1	
		(7) 道路景観の向上					
		(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
	II 暮らしと経済活動の 安全性確保	II-1. 交通の安全性の 向上	(2) 農業生産力の向上				
			(3) 農業用排水能力の向上				
			(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
(5) 森林整備の効率化							
II-2. 洪水・土砂被害 の防止		(1) 歩行者等の安全性の確保	●	○	歩道の平均幅員大、通学路の指定有、よって求められる安全水準低 自動車交通量大、歩行者・自転車交通量大、よって必要性大 主要目標「歩行者等の安全性の確保」の評価指標による貢献度ランクがb	1	
		(2) 災害に強い道路の確保	●				
		(3) 都市災害防止					
		(4) 交差点の安全性、円滑性の向上	●				
II-3. 鳥獣被害の防止		(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
	(3) 崖崩れ被害の防止						
	(4) 地滑り被害の防止						
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●				
		アクセス機能の維持	●				
		主要渋滞ポイントの解消					
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化	●	○	電線・通信回線の共同溝等により統合整備し、地震時における安全性の向上を図る。	1	
		身近な緑地・交流の場の提供					
		飲雑用水の安定供給					
	自然環境	糞尿の処理					
		地域の文化・学習等活動の支援					
	事故・災害防止	各種情報の円滑な提供	●				
		水源涵養機能の向上					
生態系空間の再生							
防火帯・延焼遮断帯の確保							
緊急時の避難・救助機能の確保		●	○	緊急輸送路の整備	1		
生産性	被災時の被害波及の防止	●	○	被災することによって大きな被害波及が懸念される施設の保全(緊急輸送道路:国道139号)	1		
	既存施設の崩壊危険性の排除	●					
	走行安全性の確保	●					
	林業生産力の向上						
	遊休農地の解消						
その他	新たな公共用地の創出						
	農地の保全						
	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
副次効果 評点合計	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元	●					
	他事業との一体施工	●					
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●					

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が添付されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果」の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。  
 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。